

モデル事業に向けた調査項目の選定について

平成18年度 高齢者介護実態調査では、現在、要介護認定を行うために必要な項目（82項目）と新規項目（110項目）、その他について調査を行った。

今後、認定審査と並行して、現在行われている認定調査を活用しながらデータ収集を行うモデル事業（第一次）を実施することとしている。

従って、モデル事業（第一次）実施期間中も現行の認定審査を行うことから、現行の認定審査に必要な項目（82項目）については、引き続き調査を行う必要がある。

その他の項目（110項目）については、下記の条件により選定された、有用と考えられる項目についてのみデータの収集を行うこととする。

（選定の流れについては別添1を参照）

選定条件1（別添2-1）

要介護（要支援）区分毎の回答構成に差があるかの確認を行い、差のない設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

選定条件2（別添2-2）

要介護（要支援）区分と回答に付された順序に関係がないか検証し、群間で差がない設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

選定条件3（別添2-3）

回答（選択肢）別のケア時間に差があるかを確認し、差のない設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

選定条件4（別添2-4）

既存の認定調査項目（82項目）と回答傾向が類似する設問については、既存の設問で代用可能であることから除外対象とする。

選定条件 1 ~ 4 を用いて選定を行った結果、選定された項目については以下のとおり。

(条件 1 ~ 4 による選定状況のまとめは別添 2 - 5 参照)

11-3-1	物や人等に対する強いこだわり	14-10	感覚刺激に過敏に反応
11-3-2	多動	14-11	新しい環境等で情緒不安定になる
11-3-3	行動の停止	14-12	いつもの手順変更を許さない
11-3-5	自傷行為	14-13	具体的な作業指示が必要
11-3-6	破壊行為	14-14	比喩(たとえ話)を理解できない
11-3-9	環境変化で通常と違う声を出す	14-15	気持ちの切り替えができない
11-3-15	一日中横になったり、自室に閉じこもる	14-16	同時に二つのことをできない
11-3-16	話がまとまらず、会話にならない	14-17	要求を断れず、人の言いなりになる
11-3-17	やりかけたことを途中で投げ出す	14-19	一人になることを嫌がる
12-1	調理(献立を含む)	14-20	気になることにひどく心配する
12-2	食事の配膳・下膳(運ぶこと)	14-21	戸締りを忘れる
12-3	掃除(整理整頓を含む)	14-23	知覚鈍磨(痛みを認識しない)
12-4	洗濯	14-24	気を引くためにトラブルを起こす
12-5	入浴の準備と後片付け	14-25	意味もなく独り言や独り笑いをする
12-6	買い物	14-26	集団への参加ができない
12-7	交通手段の利用	15-2	栄養バランスのある食事をする
13-1	簡単な調理	15-7	職を得るための活動をする
13-2	手のこんだ調理	15-8	いったん得た職を持続する
13-3	衣服の洗濯と乾燥	15-10-1	作業場面で課題に合わせて行動する
13-4	食事の後片付けと食器洗い	15-10-2	作業場面で手順に沿った用意をする
13-5	掃除	16-2	補装具の状況
13-7	ごみ捨て	16-3	ひとりでの外出
13-8	寝具の準備及び片付け	16-8-5	訪問者 福祉サービス職員
13-11	情報機器	16-9	日中の過ごし方
14-2	安全の判断ができない	16-10	1年前の身体状態と比較した状態
14-3	損得の判断ができない	17-1	指示された日時に通院出来る
14-4	役割が解らずに誤解で行動する	17-6	寝つきについて
14-7	昼間から寝ていたり閉じこもる	17-8	昼寝
14-8	唐突な話や行動	17-10	髭剃り
14-9	自分勝手に行動する		

選定条件 5

条件 1 ~ 4 を用いて選定された項目（59 項目）について、さらに、下記の条件により選定を行う。

選定条件； 次の ~ の条件により除外対象となる設問を決定する。

回答に著しい偏りがある設問については、要介護（要支援）区分の判定に有効でないことから除外対象とする。

客観性が担保できない等認定調査項目として適切でないと考えられる項目については除外対象とする。

条件 5 を用いて選定を行った結果、選定された項目については以下のとおり。
（条件 5 - 及び 5 - による選定状況のまとめは別添 2 - 6 参照）

要介護認定モデル事業（一次）の調査項目（案）

11-3-16	話がまとまらず、会話にならない
12-6	買い物
14-9	自分勝手に行動する
14-11	新しい環境等で情緒不安定になる
14-13	具体的な作業指示が必要
14-15	気持ちの切り替えができない
14-16	同時に二つのことをできない
14-17	要求を断れず、人の言いなりになる
14-20	気になることにひどく心配する
14-25	意味もなく独り言や独り笑いをする